



尾久八幡

令和7年度1月号
令和8年1月13日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 稲葉 裕之

本に親しむ様々な取り組みを行いました。

つながる学校図書館 — 11月は八幡中「読書月間」! —

昨年、「なぜ働いていると本が読めなくなるのか」という新書が話題になりました。そうしたなか、「読書啓発活動・学校図書館活用」を学校経営方針の5つの柱の一つに掲げる本校では、本年度、新たに11月を「読書月間」と位置付け、「つながる」をテーマに次のような取り組みを行いました。今回、まとめて紹介いたします。



第一弾 “笑い”でつながる 11/5

ねづっちの『なぞかけライブ』 ～語彙力が試される、知的な面白さ!～

- ・ねづっちさんの国語科出前授業
- ・事前の調べ学習で生徒もなぞかけを考案、当日講評いただきました。

第二弾 “食”でつながる 11/4, 5, 6, 7

Book ランチウィーク ～本に登場する料理を給食で再現!～

- ・校内放送で本文を紹介しながらの食育給食
- ・今回は「そしてバトンは渡された」等四作品から、給食で提供しました。



第三弾 “地域”とつながる 11/20

尾久図書館によるブックトーク ～選書のプロが選りすぐりの蔵書を紹介!～

- ・図書を通じた地域連携
- ・テーマ「将来を考える」から、職業に関する本を紹介いただきました。



第四弾 “後輩”とつながる

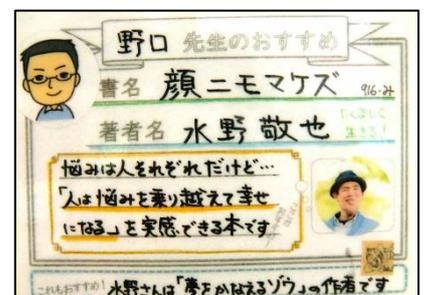
小学校6年との読書郵便 ～図書館の蔵書を葉書で紹介!～

- ・尾久地区小学校との読書活動交流
- ・尾久小・尾久宮前小と本校の図書館に、互いの作品を掲示しました。

第五弾 “先生”とつながる (継続中)

先生のおすすめ本 ～読み終えたら先生からのスタンプ Get!～

- ・全教員が一人一冊、自作ポップで本を紹介
- ・学校独自の「御書印帖」を持って先生を尋ね、感想を語り合えました。



そして、その締めくくりとして読書マラソンを行いました。

第六弾 “みんな”でつながる 11/17~27

読書マラソン ~どこまで読み進められる?学級対抗でもチャレンジ!~

- ・頁数を意識、集中しての朝読書
- ・学校図書館の蔵書を活用、個人及び学級全体の頁数で表彰します。



これについては、12月15日(月)の生徒会朝礼の場で図書委員長から、個人の部の1位の生徒への賞状の授与を行いました。

	個人の部	学年の部
1年	1位 相場 結子さん、2位 栗原 美衣さん、3位 荒木 音乃さん	1位 1組
2年	1位 長沼 来実さん、2位 石塚 陽和さん、3位 戸田英空登さん	1位 1組
3年	1位 登 ひまりさん、2位 田中音羽さん、3位 小澤 楓さん	1位 1組

また、12月には、下記のような読書に関わる取り組みがありました。

学校代表として、他に引けを取らない発表をしてくれました。

全国中学ビブリオバトル東京大会 参戦 12月14日(日)



本校では、昨年度から「校内ビブリオバトル」を再開、今年も9月9日(火)に実施したところです。この度、「校内ビブリオバトル」でチャンプ本となった大野晴菜さんが、12月14日(日)に行われた読売新聞社主催「全国中学ビブリオバトル東京大会」に、本校代表として参戦してきました。

当日、会場となった「日本出版クラブ」には、東京近郊の中学校から24名の生徒が出場しました。大会は、6つのグループに分かれて予選を行い、勝ち上がった各予選チャンプ本獲得者による決勝によりチャンプ本を決めます。なお、チャンプ本を獲得した生徒ら上位者は、年明け3月に行われる第9回全国中学ビブリオバトルの出場権(シード権)を手に入れます。

大野さんは、五味太郎さんの「じょうぶな頭とかしこい体になるために」を題材に、予選①グループで発表しました。実際に五味太郎展にいった経験などを交えながら、大げさなジェスチャーや過度の抑揚などに頼ることなく、文脈をもったわかりやすい発表でした。3分間の質疑でも、オーディエンスの質問の意図に沿って的確な回答で落ち着いた対応をしてくれました。残念ながら決勝進出はなりませんでした。他の発表者に引けを取らない、すばらしい内容の発表でした。



読書には、その意義や効能など様々あるかと思いますが、そのなかで本校として大事にしたいこと、それは“本を読む楽しさ”です。そして、それを互いに共有できる場・体験です。そうした意味で、本校は“本に触れる機会”をこれからも大切にしていきたいと思っています。

修学旅行につながる平和学習として、尾久の歴史を学びました。

2年生 尾久初空襲 講演会 11月28日(金)

現2学年は、「平和学習」を探究的な学習のテーマのひとつにしており、3年次の修学旅行では訪問地として「広島」を予定しています。そこで今回は、地元である荒川区で「尾久初空襲」を語り継ぐ活動している方々3名をゲストティチャーにお迎えし講演会を実施しました。

始めに、東京都公認ヘブンアーティストである三橋とらさんが、被災体験をもとにした紙芝居を実演、空襲の日のことが実に生々しく、自分がそこにいるような感覚になる程でした。続いて、「尾久初空襲を語り継ぐ会」の瀬野喜代さんから、尾久初空襲（ドーリットル空襲）の概要を、スライドを使いながら説明いただきました（校内での資料展示も行いました）。最後に空襲を実際に経験した堀川喜四雄さんが、ご自身の体験とともに、空襲で亡くなった友人へ宛てた手紙を朗読いただきました。その後の質疑応答では、活発なやり取りがなされ、理解を深めることができました。



戦後80年あまりが過ぎ、当時を知る方も少なくなり、尾久初空襲の語り部も堀川さんだけだそうです。そうしたなかであって今回の講演会は、これからの時代を担うみなさんが直接話を聞ける貴重な機会でした。今回学んだことをしっかりと受け止めながら、「平和学習」をさらに進めていきましょう。ご協力いただきました3名の講師の皆様、ありがとうございました。

熊野前駅周辺で、募金への協力を呼びかけました。

「歳末たすけあい・地域福祉募金」街頭募金参加 12月3日(水)

本校では、社会貢献活動・地域奉仕活動を推進・奨励しています。このたびは、荒川区社会福祉協議会が行う「歳末たすけあい・地域福祉募金」に協力させていただきました。12月3日(水)、17時から熊野前駅周辺三カ所で行われた街頭募金に、ボランティア防災部員13名が参加、社会福祉協議会職員・民生委員・児童委員をはじめとする地域の方々といっしょに、「募金への協力、お願いしまーす!」と大きな声で呼びかけを行いました。



現在は、現金だけではなく、QRコード決済でも募金することができ、おかげさまで、多くの方々にご協力いただくことができました。これからも、こうした活動があれば協力していきたいと思っております。今回、参加してくれたボランティア防災部のみなさん、お疲れさまでした。

地域の事業所のご協力で、貴重な経験をさせていただきました。

6組3年生 職場実習 12月1日(月)～12月5日(金)

12月1日(月)から5日(金)までの5日間、6組の3年生は、職場実習を行いました。実習にあたっては、次の事業所の皆様にご協力をいただきました。ありがとうございました。

レストラン 山惣

オリンピック 熊野前店

尾久図書館

NPO 法人かがやき 小台橋あさがお



実習に先立ち、実習先調べや、実習での目標決め、挨拶等マナーの練習など、事前準備を行い、当日に臨みました。実際の実習では、事業所の方々にご指導いただき、だんだんと業務に慣れていくことができ、困難なこともありましたが、実際の職場だからできる貴重な経験を積むことができました。

6組では、3年間を通じて次のような力を身に付けることを目標に掲げ、今回も、こうした視点をもって実習に取り組みました。

【他者と関わりながら、社会生活を送る力】

- ・相手に伝わるあいさつ・返事ができる、
- ・感謝の気持ちを伝えることができる、
- ・社会に認められる形での意思表示ができる



【自分の長所や特長を理解し、勤労の場で発揮する力】

- ・目標達成に向けて継続した努力することができる、
- ・周囲と協力して仕事に取り組むことができる

【困難を乗り越え、自分の役割を遂行する力】

- ・困ったときに自分から助けを求めることができる、
- ・担当した仕事を最後まで責任をもつことができる



【自分の将来を設計していく力】

- ・知識や経験等をもとに自分の意思で将来像を描き続けることができる

これらは、社会に生きていくうえで大切なことです。中学校(義務教育)では、こうした社会人としての基礎を身に付けていけるよう、教科の学習だけでなく、学級、係、委員会での活動、さまざまな行事があります。ですから、取り組むなかで、またやり終えてから振り返りをするなかで、こうしたことを皆さん自身があらためて意識することで、確かな自分の力にしていってほしいと思います。